



亀有信用金庫の現況

令和6年4月1日～令和6年9月30日

2024年度上半期

ごあいさつ

かめしんでは、お取引先の皆様に財務内容をはじめ業務内容、地域密着型金融推進状況等について適時・適切にご案内させていただくために3月末の決算期に加え、半期毎の情報開示を行っております。

地域の皆様から信頼され、お役に立てるよう役職員全力で取り組んでまいりますので、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご一読いただければ幸甚でございます。



理事長
矢澤 孝太郎

令和6年11月



夢づくり、街づくり。

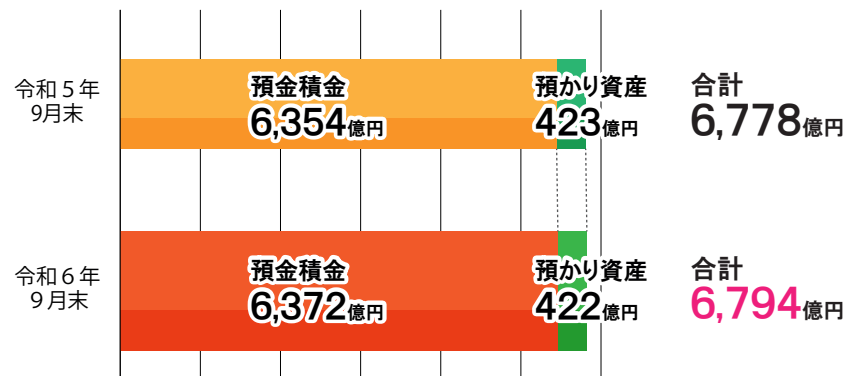
亀有信用金庫

預金積金・貸出金の状況

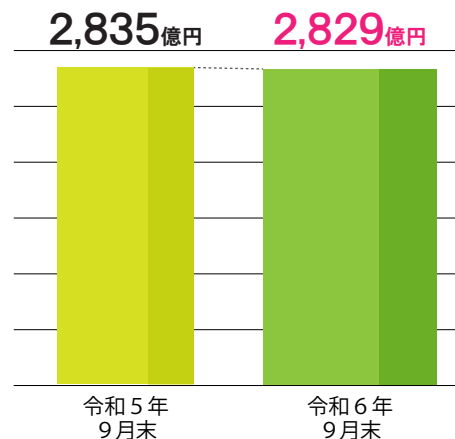
預金積金は6,372億円(前年同期比17億円増加)、預かり資産は422億円(同1億円減少)、貸出金は2,829億円(同5億円減少)となりました。

※預かり資産は、国債(額面)、投資信託(時価)、個人年金保険および終身保険(円貨建は収入保険料、外貨建は時価)の合計です。

■ 預金積金・預かり資産の状況



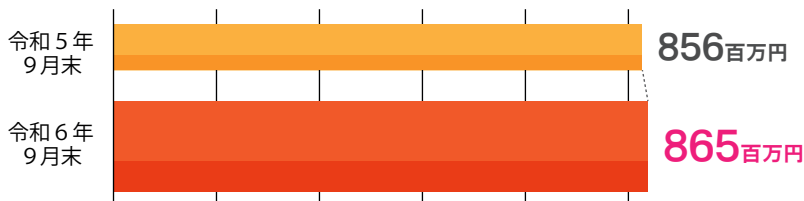
■ 貸出金の状況



損益の状況

令和6年9月期の収益については、預け金利の増加により資金運用収益が微増となり業務収益は4,128百万円(前年同期比118百万円増)となりました。費用については、経費は前年並みでしたが、債券売却損の減少によりその他業務費用が減少となったため業務費用は3,323百万円(同178百万円減)となりました。株式売却益の減少により、臨時収益は371百万円(同196百万円減)、臨時費用は98百万円(同64百万円減)となりました結果、業務純益は804百万円(同297百万円増、同58.8%増)となりました。その他の損益は右表のとおりです。

■ コア業務純益の状況



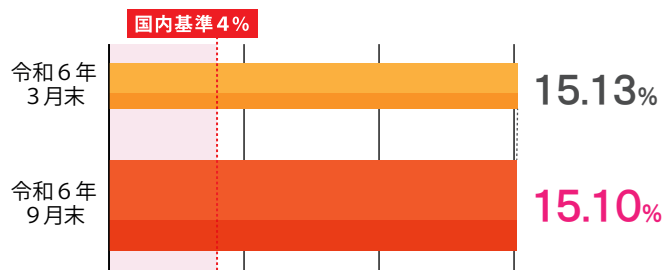
(単位：百万円)

	令和5年9月期	令和6年9月期
業 務 純 益	506	804
実 質 業 務 純 益	506	804
コ ア 業 務 純 益	856	865
コ ア 業 務 純 益 (投資信託解約損益を除く)	856	865
経 常 利 益	911	1,076
当 期 純 利 益	711	737

単体自己資本比率(国内基準)

令和6年9月末の自己資本比率は、令和6年3月末比で0.03ポイント低下して15.10%となりました。

引き続き国内基準の4%を大幅に上回り、健全性を維持しております。

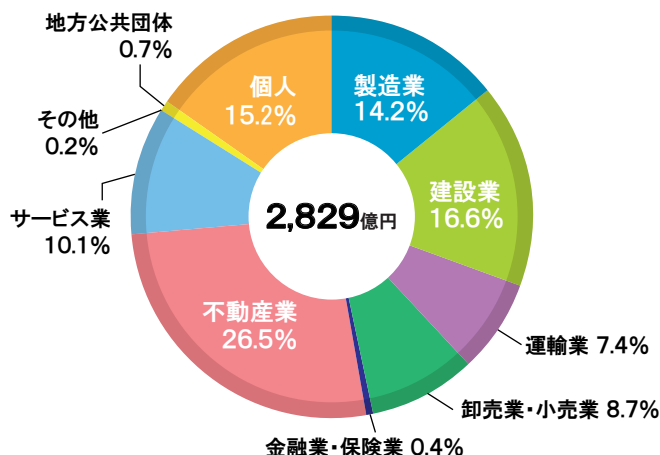


(単位：百万円)

		令和6年3月末	令和6年9月末
コア資本に係る基礎項目	普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	47,873	48,601
	コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,046	1,042
	コア資本に係る基礎項目の額 (1)	48,919	49,644
コア資本に係る調整項目	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の合計額	124	112
	前払年金費用の額	387	435
	コア資本に係る調整項目の額 (2)	512	547
自己資本の額 (1) - (2) (3)		48,407	49,096
リスク・アセット等	信用リスク・アセットの額の合計額	306,692	311,793
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	13,190	13,190
	リスク・アセット等の額の合計額 (4)	319,883	324,983
自己資本比率 (3) / (4)		15.13%	15.10%

貸出金の内訳

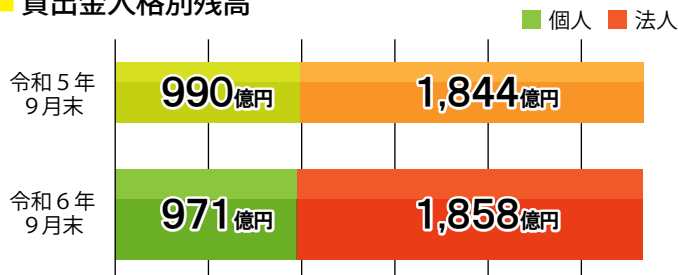
貸出金業種別構成比(令和6年9月末)



貸出金資金使途別構成比(令和6年9月末)



貸出金人格別残高



有価証券の時価情報

時価のある有価証券の評価損益は、高利回り債券の償還や金利上昇に伴い、令和6年9月末で5,117百万円の評価損と前年同月末(5,987百万円の評価損)から869百万円縮小しています。

満期保有目的で時価のあるもの

(単位: 百万円)

	令和5年9月末					令和6年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
国債	4,484	4,137	△347	-	347	4,485	4,099	△386	-	386
地方債	3,361	3,335	△26	-	26	8,733	8,719	△13	16	30
社債	2,067	2,053	△14	-	14	2,059	2,046	△13	-	13
合計	9,913	9,525	△388	-	388	15,277	14,864	△412	16	429

その他有価証券で時価のあるもの

(単位: 百万円)

	令和5年9月末					令和6年9月末				
	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
株式	1,425	1,953	527	552	25	1,925	2,570	645	676	30
債券	194,309	188,585	△5,723	940	6,663	180,147	173,967	△6,179	508	6,687
うち国債	36,549	35,006	△1,543	392	1,935	36,865	35,164	△1,700	196	1,896
うち地方債	50,705	48,725	△1,979	228	2,208	44,103	42,006	△2,096	134	2,231
うち社債	107,053	104,853	△2,200	319	2,520	99,179	96,796	△2,382	176	2,559
その他	30,989	30,585	△403	1,111	1,515	26,131	26,961	829	1,187	358
合計	226,724	221,124	△5,599	2,605	8,204	208,204	203,499	△4,704	2,372	7,077

金融再生法上による開示債権

お取引先の経営相談・支援機能の強化及び不良債権の新規発生防止等の態勢整備に取り組み、金融再生法開示債権は令和6年3月末と比較して1,062百万円の減少となりました。

今後とも、お取引先に対する経営改善支援を通じた不良債権削減に注力し、貸出資産の一層の健全化を推進してまいります。

金融再生法開示債権額

(単位: 百万円)

	令和6年3月末	令和6年9月末	増減額
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,972	2,880	△92
危険債権	8,355	7,554	△800
要管理債権	603	433	△169
うち三月以上延滞債権	119	119	-
うち貸出条件緩和債権	483	314	△169
小計	11,931	10,868	△1,062
正常債権	270,945	272,317	1,371
総与信残高	282,876	283,186	309

(注) 令和6年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規制(以下「金融再生法」という)」第4条に規定する各債券のカテゴリーにより区分しておりますが、集計方法について以下の点につき年度末に開示する計数とは異なります。
令和6年9月末の金融再生法開示債権は令和6年3月末債務者区分残高を前提とし、令和6年3月末から令和6年9月末までに以下の事由が発生した債務者について、当金庫の定める自己査定関連規定に基づき、債務者区分の見直しを行っております。

- ① 延滞が発生または解消した債務者
- ② 財務内容が大幅に変化(好転または悪化)した債務者
- ③ 大幅な条件変更を行った債務者
- ④ 担保・保証に変更があった債務者
- ⑤ 倒産、不渡り等の客観的な事実があった債務者
- ⑥ 差押、仮差押があった債務者
- ⑦ その他急激な業況の変化があった債務者

「地域密着型金融」の推進

当金庫では「地域密着型金融」の推進を経営の重要課題と位置づけております。「地域経済への貢献」と「収益力の向上」を達成するために、中小企業への育成支援機能の強化や新規事業先開拓活動を積極的に推進し、令和6年度下期も引き続き内部管理体制の充実強化に努め、地域密着型金融の機能強化を図ってまいります。

■「地域密着型金融」の主要計数実績

	中小企業融資開拓先数	中小企業融資比率	事業再生及びランクアップ先数
令和5年9月期	200先	82.8%	2先
令和6年9月期	192先	83.8%	0先

経営者保証に関するガイドラインの活用状況

「経営者保証に関するガイドライン」は、中小企業・小規模事業者等（以下「中小企業」という）の経営者の方々による個人保証（経営者保証）の課題を解決するために、日本商工会議所と全国銀行協会を共同事務局とする「経営者保証に関するガイドライン研究会」により取りまとめられた中小企業（債務者）・経営者（保証人）・金融機関（債権者）の自主的なルールです。当金庫と中小企業の経営者との間で、新たに保証契約を締結する場合、既存の保証契約の見直しや保証債務の整理をする場合等に、このガイドラインが適用されることとなります。

■「経営者保証に関するガイドライン」の活用状況

	令和5年4月～令和5年9月	令和5年10月～令和6年3月	令和6年4月～令和6年9月
新規に無保証で融資した件数	1,106	1,072	1,020
うち、法人に無保証で融資した件数	830	845	769
新規融資のうち監督指針に基づく適切な対応を行った割合	98.5%	99.7%	100%

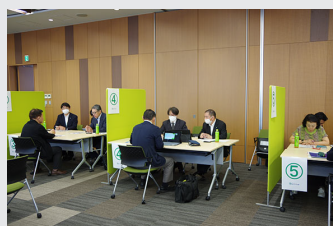
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取り組み・トピックス

第17回 新現役交流会の開催

令和6年5月

5月21日～24日の4日間にわたり、対面やリモートで開催しました。

- ◆参加共催金庫 9金庫 ◆参加企業数 38社
- ◆参加新現役数 92名 ◆面談件数 134件



シグマバンクグループ 「第13回ビジネス交流会」の実施

令和6年8月

令和6年8月2日にタワーホール船堀に会場を移し開催されました。リモートも活用したハイブリッド形式でバイヤーも参加し活発な商談が行われました。

- ◆参加企業 258社（うち出展企業72社）
- ◆来場者数 683名 ◆面談数 1,266件



亀信会「夢叶会」の発足

令和6年7月

女性経営者等を会員とし「参加者全員が夢を持ち、その夢を共有し、その夢を実現する」をコンセプトに据えた亀信会「夢叶会」が会員数38名で発足、令和6年7月26日に発足式を開催しました。



(注)本資料に掲載している計数は、令和6年9月時点において簡便な方法による自己査定であること、監査法人の監査を受けていない計数であることをご承知おきください。



夢づくり、街づくり。

亀有信用金庫

東京都葛飾区亀有3-13-1 TEL.03-3603-0181(代)
<https://www.shinkin.co.jp/kameari/>